

# 文芸

## 俳句

春が来て体のギアを入れ替える

池田 逸子

詰襟の自転車部隊風光る

伊藤 敬子

親に孝詫びし天空舞ふ燕

今関満喜子

捨てられた鉢の中にも春が来た

魚地 照子

永き日を使ひ切つたる一人旅

江森 悅子

母牟寿童女にかへり葱の花

川島 通則

今関満喜子

捨てられた鉢の中にも春が来た

魚地 照子

永き日を使ひ切つたる一人旅

江森 悅子

母牟寿童女にかへり葱の花

川島 通則

耳たぶのごとふくよかや草の餅  
あと少し出荷をせかす葱坊主  
鬼舞の寺は直ぐそこ葱の花  
土屋 美枝子  
栗扇

房州の花壇で摘みしストックが  
帰る車内にほのと香れり  
八角 三枝  
切り分けし林檎啄ばむ鴨幾羽  
餌皿を飛ばし飛び去り行きぬ  
鈴木まさ子

うほう物館 50

## 湿原の青

緑がまぶしくなる初夏から

梅雨の頃になると、篠本湿原

では青色がぼつぼつと目立つ

ようになります。これはノハ

ナショウブというアヤメ科の

花で、日本各地の山野の湿地

ミスなく終へてほつとしてゐつ

西山満里子

今年亦種播の手伝ひ無事にでき

十九で口が死見つめし事あるも

卵抱く親鶏のごとく吾が夫は

インフルエンザの孫に添ひ寝す

吾が庭の片隅にある野兎の

眼と出会ふ独り居の午後

押尾 輝子

青木 秀子

十九で口が死見つめし事あるも

今となりては唯夢の如し

向後 寛

うらうらと照れる櫻の下歩む

足もと危ふき身を庇いつつ

犬走り打つ雨音も聞こへ来る

児等の帰りし校庭閑か

島田ますみ

アメリカを旅する娘の帰り待つ

土産話を聞かむ思ひに

五月、端午の節句に付きも

のの花と言えば、名前の読み

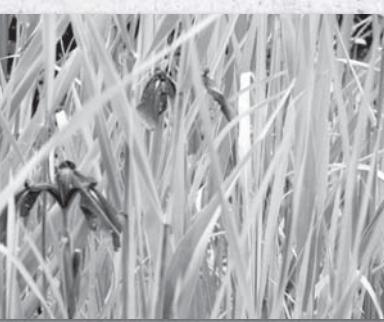
と「勝負」とが掛け合わされ

た花菖蒲ですが、これは江戸

時代から園芸品種として改良

されたものを指します。その

品種改良される元となつた原



▲「ノハナショウブ」

と呼ばれるものが山形県で栽培されています。近年では花

菖蒲の豪華さが海外でも注目され、外国でも盛んに改良さ

れてこれまでになかつた品種も生まれ、日本に逆輸入され

ています。

しかし、改良された豪華な

花菖蒲よりも、野に咲くノハ

ナショウブの方が、すつきり

とした花形で、清楚な感じが

します。篠本湿原で咲く花は

なかなか見ることができませ

んが、坂田池公園の湿生植物

園で見ることができます。

篠本湿原で咲く花は

なかなか見ことができませ

んが、坂田池公園の湿生植物

園で見ることができます。

もののに折られし首の葱坊主

鈴木 利子

葱坊主姿勢崩さず凜として

鈴木 利子

もののに折られし首の葱坊主

鈴木 利子

耳たぶのごとふくよかや草の餅  
あと少し出荷をせかす葱坊主  
鬼舞の寺は直ぐそこ葱の花  
土屋 美枝子  
栗扇

房州の花壇で摘みしストックが  
帰る車内にほのと香れり  
八角 三枝  
切り分けし林檎啄ばむ鴨幾羽  
餌皿を飛ばし飛び去り行きぬ  
鈴木まさ子

うほう物館 50

## 湿原の青

緑がまぶしくなる初夏から

梅雨の頃になると、篠本湿原

では青色がぼつぼつと目立つ

ようになります。これはノハ

ナショウブというアヤメ科の

花で、日本各地の山野の湿地

ミスなく終へてほつとしてゐつ

西山満里子

今年亦種播の手伝ひ無事にでき

十九で口が死見つめし事あるも

卵抱く親鶏のごとく吾が夫は

インフルエンザの孫に添ひ寝す

吾が庭の片隅にある野兎の

眼と出会ふ独り居の午後

押尾 輝子

青木 秀子

十九で口が死見つめし事あるも

今となりては唯夢の如し

向後 寛

うらうらと照れる櫻の下歩む

足もと危ふき身を庇いつつ

犬走り打つ雨音も聞こへ来る

児等の帰りし校庭閑か

島田ますみ

アメリカを旅する娘の帰り待つ

土産話を聞かむ思ひに

五月、端午の節句に付きも

のの花と言えば、名前の読み

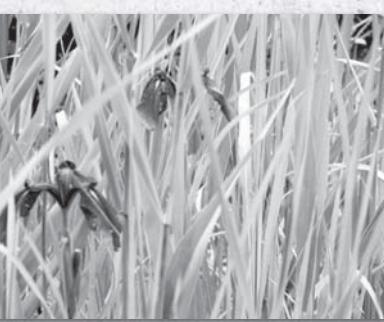
と「勝負」とが掛け合わされ

た花菖蒲ですが、これは江戸

時代から園芸品種として改良

されたものを指します。その

品種改良される元となつた原



▲「ノハナショウブ」